

アプリケーションカタログ 灰中の酸化カルシウム

関連業界	:	鉱石
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	光度滴定法/キレート滴定
関連規格	:	

1. 概要

灰中の酸化カルシウム測定は、試料に硝酸を加えて溶かし純水を加えたものを調製試料とし、この調製試料に水酸化カリウム溶液を加えた後、0.01mol/L EDTA溶液で滴定し指示薬の変色により得られた滴定曲線上の変曲点を終点とします。EDTA溶液の滴定量から酸化カルシウムを算出します。

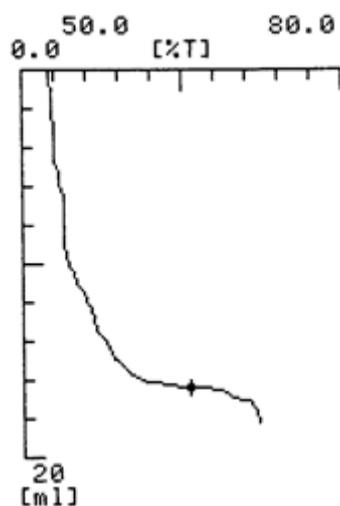
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（光度滴定用プリアンプリファイア PTA-）
電極	:	オプション 光度センサ 干渉フィルタ（530nm）

3. 試薬

滴定液	:	0.01mol / L EDTA溶液
添加試薬	:	純水, 硝酸, 8mol/L 水酸化カリウム溶液
指示薬	:	NN指示薬（100倍質量の硫酸カリウムと混和）

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	採取量 (g)	滴定量 (mL)	酸化カルシウム (%)
1	0.010016	9.0033	50.410
2	0.010016	9.0003	50.393
3	0.010016	9.0094	50.444
平均値			50.416
標準偏差			0.026
相対標準偏差			0.05

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>